

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	03	01	02	0404	高齢者福祉サービス基盤整備事業

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 [平成 18 年度 ~ 平成 37 年度]
------	--------------------------------	--

《事業目的》

介護サービス施設の待機者解消

《事業開始の背景》

介護保険事業計画に基づく施設整備

《事業概要》

- 老人福祉施設建設資金借入償還金補助  
老人福祉施設の建設、改築時に借り入れた資金の償還を補助した
- 介護サービス施設整備補助  
・特別養護老人ホームの入所待機者の解消等のため、介護保険事業計画に基づき新設する介護サービス施設整備を補助した
- ・既存介護サービス施設のスプリンクラー設備整備を補助した
- 施設開設準備経費助成  
介護サービス施設を開設するための準備経費を補助した

市民参画の有無 [ 対象外 ]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(計画)
① 介護施設（特養、老健、療養型病床）及びグループホームの入所定員数	人	目標	1,453	1,511	
		実績	1,453	1,482	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	健康福祉部	長寿福祉課	松田 隆	10-580

	25 年度	当初(現計)	補正	25 年度	26 年度
事業費	310,947				
財源内訳	国県支出金	226,001			
	地方債				
	その他				
	一般財源	84,946			

《事業手法の詳細》

○老人福祉施設建設資金借入償還金補助 **84,946千円**

【内容】老人福祉施設の建設・改築時の借入償還金元利補給に係る補助

- 10施設 [内訳] 特別養護老人ホーム 6施設  
軽費老人ホーム 1施設  
地域福祉センター 3施設

○介護サービス施設整備補助 **180,401千円**

【内容】新設する介護サービス施設整備費等に係る補助（県補助金）

- ① 地域密着型特別養護老人ホームの新設 1施設×116,000千円=116,000千円  
・特別養護老人ホーム 花あかり 定員29名（花巻中央圏域）  
（特別養護老人ホームサンガは平成26年度に繰越）
- ② 小規模多機能型居宅介護施設の新設 2施設×30,000千円= 60,000千円  
・小規模多機能ホームいづな 宿泊定員9名（東和圏域）  
・なごみホームうきた 宿泊定員9名（東和圏域）
- ③ 既存施設のスプリンクラー設備の整備 2施設 合計4,410千円  
・グループホームこぶなど  
・小規模多機能型居宅介護ぼっかばか花巻西

○施設開設準備経費助成特別対策事業費等補助 **45,600千円**

【内容】介護サービス施設を開設するための準備経費に係る補助（県補助金）

- ・地域密着型特別養護老人ホーム 600千円×29名×2施設=34,800千円  
（2施設のうち1施設は26年度開所予定）
- ・小規模多機能型居宅介護施設 600千円×9名×2施設=10,800千円

高齢者福祉サービス基盤整備事業（総括表）

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	01	02	0404	高齢者福祉サービス基盤整備事業

総合計画	政策	保健・医療・福祉のネットワーク	施策	高齢者や障害者がまちで暮らす真のノーマライゼーションへの取り組み
	3	拡充で安心のまちづくり	3-3	
目的	介護サービス施設の待機者解消			
対象	介護施設整備を実施した法人			
意図	介護施設のサービスの充実を図る。			

《事業概要》

○老人福祉施設建設資金借入償還金補助  
老人福祉施設の建設、改築時に借り入れた資金の償還を補助した

○介護サービス施設整備補助  
・特別養護老人ホームの入所待機者の解消等のため、介護保険事業計画に基づき新設する介護サービス施設整備を補助した  
・既存介護サービス施設のスプリンクラー設備整備を補助した

○施設開設準備経費助成  
介護サービス施設を開設するための準備経費を補助した

市民参画の有無 [ 対象外 ]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 補助金交付施設数	施設	計画	11	16	
		実績	11	15	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 介護施設（特養、老健、療養型病床）及びグループホームの入所定員数	人	目標	1,453	1,511	
		実績	1,453	1,482	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析	達成度	<input type="checkbox"/> 目標値より高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね目標値どおり	<input type="checkbox"/> 目標値より低い
・平成25年度は地域密着型特別養護老人ホーム2施設（各29床）及び小規模多機能型居宅介護施設2施設（各9床）の新規開設を補助した。うち地域密着型特別養護老人ホーム1施設は平成26年度の開所予定。				

《環境変化、意見・要望》

・特別養護老人ホームに早期に入所が必要な待機者数は、平成25年3月末現在で75名だったが、平成25年度末に29床、平成26年6月に29床の特養が開所する。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	・入所待機者の解消に資するための施設整備は、保険者である市の計画に基づき行われるものである。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	・新たな施設整備については、長期的な展望に立ち計画的に実施する必要がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	・借入償還補助は建設時の契約によるものであり、施設整備補助等は国・県の補助要綱に沿ったものであるため、事業費の削減の余地はない。 ・補助金交付事務にかかる人件費は削減の余地がない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	・第5期介護保険事業計画に基づいた施設整備を行い、事業者の受益機会を適正にするため公募により事業者を選定した。

《総合評価》

介護施設サービスの充実を図るため、平成25年度に地域密着型特別養護老人ホーム及び小規模多機能型居宅介護施設等を整備した。この施設整備により平成25年度において、介護施設の入所定員が29名増え1,482人となった。